



報道関係各位

2010年6月1日

ポルトガルコルク工業会、日本における主要キャンペーンに アシュトン・コンサルティングを任命

2010年6月1日東京—ポルトガルコルク工業会 (APCOR) は、日本でコルク建材及び装飾材のメリットを伝えるキャンペーンを実施するため、アシュトン・コンサルティングを任命しました。同キャンペーンは、国際的に展開する大型キャンペーン「Intercork」の一環で、コルク栓、コルク床などを含むコルク素材や製品の良さを知ってもらうことを目的としています。

世界的なコーポレートコミュニケーション関連企業である Grayling International が APCOR に委託されて実施する世界 5 カ国でのキャンペーンの一環として、日本でのキャンペーンは Grayling International とアシュトン・コンサルティングが提携して実施します。

ポルトガルを本拠とする APCOR は、ポルトガルのコルク業界を代表してコルクの普及活動を行っており、250 社のメンバーが輸出するコルクは世界の 85% を占めています。

APCOR のカルロス・デ・ヘスス代表は次のように述べています。「コルクの床は保温性、防音性、防虫性が高く、比類するものの無い防湿性を持ち、快適さにも優れているなど、日本市場に適した特性が多い素材です。最新のコルク床は、こうした特性を保ちつつ、より一層品質が向上しています。耐アレルギー性、耐久性が向上し、メンテナンスも容易となりました。また、デザインの可能性は無限大で、あらゆる好みに合わせた色やパターンが揃っています。こうした新しいコルク製品は、洗練された現代のライフスタイルに適しており、その普及のためのパートナー選びは非常に重要です。日本はいち早くコルクのメリットを認識し採用してくれると期待しています。また、そのためにアシュトン・コンサルティングがこのキャンペーンを成功に導いてくれると確信しています。」

アシュトン・コンサルティングのマネージング・ディレクター、ダン・アンダーウッドは「APCOR の過去最大の世界的コルクキャンペーンにおいて、日本市場を担当できることをうれしく思っています。コルクの性能がもたらすメリット、美しさ、卓越した快適さを伝えていくと同時に、コルクのエコロジカルな側面もハイライトしていくつもりです。100% 天然で、生物分解し、リサイクル可能で、繰り返し収穫できる素材であるコルクは、エコフレンドリーな製品の推進リーダーである日本にまさにピッタリの素材だからです。」と述べています。



【お問合せ】

アシュトン・コンサルティング

塩加井匡／福井容子

Tel: 03-5425-7220

Email: apcorjapan@ashton.jp

参考写真



コルク床のデザインの可能性は無限大です。一見大理石のように見えるこの床も、新しいデザインのコルク床です。



樹皮を採取した後のコルク樅とコルク樅の森。樹皮は木を伐採することなく、コルク樅の寿命 150 年から 200 年の間に、9 年間に 1 度という規則的サイクルで採取されます。採取後の樹皮は何度もリサイクル可能なエコ素材です。

APCOR – ポルトガルコルク工業会

APCORはポルトガルのコルク業界を代表してコルクの普及に務めており、250の会員はポルトガルのコルク生産の80%、輸出の85%を占めています。また、APCORはコルクに付加価値を与えるため、国内外の様々なコルク普及活動に取り組んでおり、大規模な情報リソースセンターも運営しています。